

政策 2 健康づくりと福祉の充実

目 的

全ての県民が生涯にわたって健康で、必要とする医療や保健・福祉サービスを適切に受けることができ、地域で安心して暮らせる社会を目指します。

現 状 と 課 題

子どもの食生活・生活習慣の乱れや、壮年期における運動不足、過労、ストレス等による生活習慣病が問題になっています。

高齢化の進展に伴い、介護保険制度や医療保険制度の安定した運営や、認知症等のように様々な分野からの支援が必要な高齢者を支える仕組みづくりが課題となっています。

人口減少・少子高齢社会の進展により、地域社会のマンパワーが今後一層不足し、従来、地域社会が発揮していた日常生活を支える相互補完機能が低下しつつあります。

取 組 み の 方 向

県民誰もが生涯にわたって健康づくりに取り組み、地域に関わりを持ち続けることができる仕組み・環境づくりを進めます。

高齢者が元気で生活できるよう介護予防の取り組みを進めるとともに、支援が必要になったときには、適切な介護・福祉サービスが受けられるような仕組み・環境づくりを進めます。

障害や障害者に対する正しい理解を進めるとともに、障害者の自立に向けて、地域生活への移行や就労のために必要な支援を行います。

県民が必要なときに、必要な福祉サービスや支援を受けることができる体制づくりや地域でお互いに支え合う地域福祉を推進します。

成果指標と目標値

成果指標	平成 19 年度		平成 23 年度
平均寿命	男性 78.5 歳	➡	男性 79.2 歳
	女性 86.6 歳		女性 86.9 歳
介護を要しない高齢者の割合	86.2%		85%

0歳児が平均して何年生きられるかをあらわしたものを平均寿命といいます。健康づくりやがん予防対策など様々な取り組みを行うことで、直近（平成17年）の本県の平均寿命（男子78.5歳、全国29位・女性86.6歳、全国2位）を男子79.2歳（全国10位）、女性86.9歳（全国1位）に延ばすことを目指します。

高齢化の進展に伴い増加することが見込まれる介護が必要な高齢者（要介護1～5）の割合を現状程度に維持することを目指します。

県が実施する施策

健康づくりの推進	・・・	P-168-
地域福祉の推進	・・・	P-170-
高齢者福祉の推進	・・・	P-172-
障害者の自立支援	・・・	P-174-
生活衛生の充実	・・・	P-176-
生活援護の確保	・・・	P-178-

県民の皆さまへ

生涯にわたって健康でいきいきと生活するため、日頃から栄養、運動、休養など、バランスのとれた生活を積極的に心がけましょう。

年1回は健康診断を受けて健康状態を確認し、生活習慣を改善していきましょう。高齢者の方々が、日々、元気で健やかに過ごされることは、地域社会を支える力になります。元気な高齢者の方々が、地域社会の担い手として、活躍していただけることを期待しています。

それぞれのお住まいの地域で、日頃から、あいさつを交わし、声を掛け合い、必要なときは助け合うようなつながりを築き、地域で暮らしていく上での問題やその解決を話し合っていくなど、住民の皆さんが自ら住みよい地域づくりに取り組むことが大切です。

〔取組み事例〕

【障害者の自立支援】

NPO 法人「プロジェクトゆうあい」は、主に松江市において、ユニバーサルデザイン啓発のためのビデオ作成、視覚障害者のための音声案内システム「てくてくラジオ」や「触覚ディスプレイ」の普及活動のほか、まちのバリアフリー情報の提供などを行っています。

【命を尊ぶ高齢者福祉】

NPO 法人「なごみの里」は、知夫村において、多くのボランティアの協力を得ながら、寝たきりの高齢者の介護や買い物の代行等、様々な高齢者の支援や、精神障害者向けのミニデイサービスなどの福祉活動のほか、命の尊さを伝える啓発活動などを展開しています。